

建廃協NEWS44号

2月16日 青年部主催ペップトーク講習会を開催



建設廃棄物協同組合では、東京都の支援事業の一環としてモチベーションアップの講習会として「ペップトーク講習会」を岩崎由純講師をお迎えし開催しました。参加者の声をご紹介します。

(株)光洲産業 営業部 斉藤成哲

このペップトークとはスポーツ業界で指導者が選手に試合前などに行う激励のショートスピーチでありペップとは英語で元気、活力、活気といいます。選手は技術、肉体等を日々鍛錬しますが、指導者は日々戦術等指導力を身に付け更に言葉の勉強をしペップトークを磨くため言葉の鍛錬を行っているとのこと。

日々のお話の中でつい「事故を起こすな」とか言いますが「事故」この言葉が引き金となり事故を連想しマイナスイメージを植え付ける為、ポジティブに事故を連想させない為ペップトークでは「安全運転で行こう」などの置き換え「安全」を意識づけさせ安全運転をするよう働きかけるとの事でした。

但し、ペップトークには試合前などに用いる為、時には激しい言葉を用いり叱咤激励を行う上でポイントとなるのはお互いの信頼関係上成り立ちます。その為日々の人間関係の構築がまず必要不可欠であるとの事でした。

ペップトークを行なった際に行なって終わりではなく「PDCAサイクル」これは3つの声掛けと言われています。①ペップトーク（試合前の前向きな背中の一押し）→②ポストコンペティショントーク（良い点、悪い点に言及し、改善点を共有する）→③モチベーションスピーチ（練習前やキックオフミーティングなどで名の動機づけをするスピーチ）のように次のステップアップを促す内容となっています。その為、日々の業務においても指示をする際その他の結果についてPDCAサイクルは勿論ペップトークを活用し、より良い日々の人間関係を構築し業務に役立て行こうと実感した講習会でした。



2月18日～19日 合同視察会開催



今年度最後の視察は広島県のJFE環境株式会社 福山RPF工場、ツネイシカムテックス株式会社と新たにツネイシカムテックス社の処分先になった一般財団法人広島県環境保全公社の出島処分場を視察しました。



JFE環境

RPF工場は、現在組合員の施設から排出される廃フレコンを買い取り、同施設で造粒し製鉄原料としてリサイクルしています。



↑ツネイシカムテックスの新破碎機

ツネイシカムテックス社については毎回定期的に視察している施設ですが、今回は投入ピット前に破碎施設が設置されていたため、入口から見た印象が今までと変わっていました。また、自社の管理型最終処分場の残容量が少なくなってきたため、今年度より一部を広島県環境保全公社の出島処分場に処分を委託しています。

来年度からは建廃協組合員の荷も三次処理先として出島処分場を利用することになります。

二日目は一般財団法人広島県環境保全公社の出島処分場を視察しました。同処分場は受け入れから処分までをすべて屋内で行い、屋外への飛散を一切させずに水中投入するという大変珍しい施設でした。管理体制や処分方法など、今まで見た最終処分場のものとは全く異なる施設で、参加者も帰りの時間を忘れて様々な質問をしていました。



広島県環境保全公社

お知らせ

- ★基礎講習会は4月26日(火)日本教育会館にて開催。詳細は後日お送りします。
- ★厚労省労働基準局安全衛生部より熱中症予防対策の実施について通知をHPへ載せました。
- ★許可申請に関する講習会の来年度予定が日廃振HPで3月28日に発表されます。